

JOC ジュニアオリンピックカップ 2026
全日本ジュニアスキー選手権大会（アルペン競技）
実施概要

【開催日程】 2026 年 3 月 24 日(火)～29 日(日)

24 日：TCM
25 日：K2 男子・女子 GSL
26 日：K2 男子・女子 SL
27 日：TCM
28 日：K1 男子・女子 GSL
29 日：K1 男子・女子 SL

【開催場所】 ぬかびら源泉郷スキー場(北海道河東郡上士幌町)

【実施種目】

K1 カテゴリー（小学校 5・6 年生）：GSL、SL

K2 カテゴリー（中学校 1 年生～高校 1 年生早生まれ）：GSL、SL

K1 の種目について

1. GS について

- 1) 2 本レースとする。
- 2) 方向転換数を 13～18%とする。
(ターニングポール間 MAX 27m、ディレイドゲートコンビネーションの場合はディレイドゲートから次のターニングポール間 MAX27m)

2. SL について

- 1) 2 本レースとする。
- 2) 方向転換数を 32～38%+/-3 とする。
(ターニングポール間 7m～11m、ディレイドゲートコンビネーションのターニングポール間 12m～15m)
総ターン数の 70%以上をショートポールとする。
- 3) 最少 3 箇所、最大 6 箇所のヘアピンと、最少 1 箇所、最大 3 箇所のヴァーティカルコンビネーション（最少 3～最大 4 つのゲートからなる）を設置しなければならない。
最少 1 箇所、最大 3 箇所のディレイドゲートコンビネーションを設置しなければならない。また、コンビネーションは同じ種類のポールで構成すること。

【表彰】

各組各種目 10 位まで

【スタート順】

K2：SAJ ポイントを採用し、上位 15 名タイまでをドロー、以降はポイント順とし、ノーポイントはドローとする。

K1：スタート順について

申込時の各種目毎のシード順を基に全 4 つのグループに分ける

（以下各グループを数字+G と表記する）

特別枠選手（前年度入賞）は特 G とし、1 G の前にスタートする

グループ内はオールドローとする

グループへの配置方法

- ・資料 2 に定める配置方法とする
- ・期日締め切り（11 月 30 日）後に登録 0 名の県に登録があった場合の追加選手は 2 G に入れる。

【出場資格】

K2:

- 1) 本大会に出場する選手は所属するブロックの予選に出場しなければならない
- 2) 各ブロックに割り当てられたエントリー数内で、各ブロックで選抜された競技者※¹
- 3) 前年度本大会 K2 カテゴリーにおいて各種目 10 位以内に入賞した選手
- 4) 当該シーズンの全国中学校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- 5) 2010 年生まれで当該シーズンの全国高校スキー大会各種目 10 位以内入賞者
- 6) 当該シーズンの全日本ジュニアスキー選手権(SG)で 10 位以内入賞者
- 7) 当該シーズンの強化指定 D の選手
- 8) 前年度大会 K1 カテゴリーにおいて各種目 5 位以内入賞者（中学校 1 年生が対象）
- 9) 開催地特別枠で、K2 に 3 名（男女各）

※1.SAJ ポイントリスト No.7（12 月 2 日発行）での競技者登録数を基に算出

K1:

- 1) SAJ 会員登録を完了した選手
- 2) 各加盟団体に割り当てられたエントリー数内※¹で、加盟団体に選考された競技者※²
- 3) 前年度本大会において 10 位以内に入賞した小学校 5 年生

※2 種目の出場資格を与える

※前年度入賞種目に限り特別シードを与え抽選を行う（今年度は GS のみ）

- 3) 開催地特別枠で、K1 に 5 名（男女各）
- 4) 申し込み時に S A J 選手宣誓書を提出すること（他種目で提出済の場合も）

※1 11 月 30 日までの SAJ 会員登録完了した者でアルペン区分を選択した会員数を基に算出

※2 選手選考方法は各加盟団体が決定する

【出場選手選考方法（共通）】

- 選考は、概ね 2 月中旬より、3 月初旬までに決定する。
- 出場資格は 2 種目同一選手を推奨とする。
- 選考方法は各加盟団体及び各ブロックで決定し、シーズン前に周知する
- 加盟団体およびブロック参加枠については、SAJ 競技者登録数に応じて按分する。
ブロック区分については資料 1 を参照。

【K2 ブロック予選について】

- 1:各ブロックは予選会としてレースを開催すること。

ブロック予選は各種目(SL・GS・SG)1 レースまでとし、そのレースは出場制限の対象としない。※他ブロックの予選会レース出場について制限対象となる。

2:選考方法

選考方法は各ブロックが決定し、シーズン前に周知する。

例) 総合成績、各種目上位者、総合成績と種目別上位者の組み合わせ、1 レースで 2 種目等

3:参加枠の使い方について

- ・ブロック参加枠を加盟団体に割り振ることはできない。
- ・2 種目同一選手を推奨とするが、ブロック内の合意で最終決定し周知する。

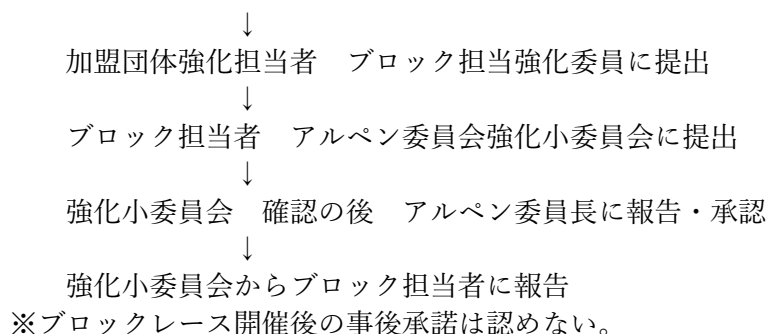
4:ブロック予選会が中止などの場合

予選会が中止になった場合の選考方法は各ブロックで決定する。

その方法はシーズン前にブロック内に周知する事。

5:個別参加有資格者がブロック予選の欠場を認めるケース

- ① SAJ 主催の強化合宿および遠征に参加の場合、高校選抜大会に出場の場合、加盟団体が派遣するレースに出場の場合（国民スポーツ大会・海外ユースレース）
- ② 怪我などにより出場できない場合でアルペン委員会が認めた場合
選手 申請書と診断書を加盟団体強化担当者に提出



資料1 【ブロック区分】

北海道：北海道
 東北：青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
 北関東：茨城、栃木、群馬、埼玉
 南関東：千葉、東京、神奈川
 甲信越：山梨、長野、新潟
 東海北陸：富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重
 近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 西日本：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、
 熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

資料2 【K1 スタートグループ】

参加枠	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1 G	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	5	5	5	6	6	6	7	7	7
2 G		1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6
3 G			1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5
4 G				1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5